



④サケ学 ～サケの一生と増やし方～

テーマ

サケの卵をふ化させて、生き物ついて学ぼう！

人数

20人（上限40人）

対象学年

小・中学生

実施時期

11月中旬～3月（人工授精体験は12月上旬まで）

実施時間

1回あたり45分～90分（計2～3回程度）

最低経費

3,000円

場所

能生川または木浦川（人工授精・放流体験）、各小・中学校（ふ化・飼育体験）

必要なスタッフ数

海洋高校の教員1名、引率教員2名程度

指導のねらい

・サケの人工授精や受精卵のふ化・放流体験を通し、生態等について学ぶ機会を提供する。

指導の流れ及び留意点

◆活動の流れ・内容

11月中旬～下旬

①サケの人工授精体験（能生川または木浦川）

能生川または木浦川に遡上したサケを使って人工授精の見学や体験、学習する。

11月中旬～3月上旬

②受精卵の飼育（各小・中学校）

人工授精したサケの受精卵をお申込みされた各学校にて稚魚になるまで飼育管理する。（11月～3月まで）。

※飼育に関する指導・アドバイス等あり。

3月中

サケの放流体験（能生川または木浦川）

各学校にて飼育された稚魚を元の河川（能生川または木浦川）に放流する。

※事前学習として「サケの生態や水産資源に関する講義」を1回実施する。

海洋高校の教員が1名、各学校に伺い授業を行う。（オンラインも可）



◆留意点

- ・人工授精体験はサケの遡上状況によって実施の可否を判断する。
(近年のサケ不漁の影響もあり、年によって実施が難しい場合があります。
実施を希望する場合は11月上旬までに相談。)
- ・ふ化・飼育体験は11月中旬～12月上旬までに申込みすること。
※ふ化・飼育体験は申し込みのあった各学校に水槽を設置していただき、
受精卵から稚魚に至るまでの間、飼育管理する。
育てた稚魚は3月上旬～中旬に放流する。
- ・①人工授精体験、②ふ化・飼育体験・放流体験は両方のお申込みまたは、
いずれか1つでの申込みも可能。

必要な用具（物品例）

※★は必須物品

	用品名	経費の目安	備考
★	水槽	3,000円	45～60cm 水槽
	救急用品	-	

※借用した品が破損した場合、新たに購入又は修理が必要

参加者の持ち物

防寒着、軍手、タオル、水筒、雨具、筆記用具

外部指導者・事業相談

事業相談:新潟県立海洋高等学校（下記のHPより申込／上記の事業以外にも多数）

<https://docs.google.com/viewer?url=http%3A%2F%2Fwww.kaiyou-h.nein.ed.jp%2Fadmission%2Fpdf%2FR5demaie.pdf>

教科との関連

【理科】5年生：魚の誕生

【総合的な学習の時間】5年生